



照来っ子

2018(H30)年

12月 7日

No. 15

“村の畦道”は、子育ての道しるべ

～ 親の愛に勝るものなし ～

今週末には雪予報が出され、いよいよ冬の到来を感じる季節となってまいりました。そして、子どもたちが、行事を節目としながら様々な輝きを放ってくれた2学期も残り2週間あまりとなりました。学校は、担任を中心としながら子ども達の輝きをまとめ、次の成長に生かす準備を進めております。17・18日の学期末個別懇談会では、お子様のよりよき成長に向けて認め励まし、忌憚なくお話していただきますようよろしくお願い致します。

さて、今朝の全校朝会で“村の畦道”を紹介しました。この照来では、農作業ができない冬の間、多くの方が都会に出稼ぎをしていた時代があり、“村の畦道”は、出稼ぎに出ている方々への、子ども達からのメッセージを送る役割を果たしていたこと。そして、時代が変わった今は、お家の方々の我が子や地域に対するきめ細やかな愛情を綴ったものであること。それらを伝え、子ども達に、「今日、お家の方に、“村の畦道”に何を書かれたか尋ね、読んでもらいなさい。」と宿題を出しました。子どもの成長にとって、“親の愛”に勝るものはございません。皆様のお愛であふれた文集“村の畦道”を通して、時には、親の“愛”を子どもにしっかりと伝えるのも良いのではないのでしょうか。そして、この素敵な文集作成に寄稿下さったPTA会員の皆様方はもとより、作成に夜遅くまで携わってくださったPTA役員の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



加湿器を購入していただきました

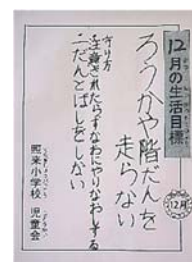
「ほけんだより」でも啓発されているように、冬の訪れとともに、インフルエンザや胃腸炎が蔓延する兆しが現れています。その予防対策のために、PTA 特別会計より、各教室に加湿器を購入していただきました。ありがとうございました。有効かつ大切に使用させていただくとともに、“手洗い・うがい・マスク”の励行を徹底できますよう、ご家庭でも予防にご協力をよろしくお願い致します。

自治的な力を高める！



照来小学校には、児童の代表からなる“代表委員会”という組織があり、全校生に自分たちの生活をよりよくしようと投げかけながら取り組んでいます。また、6年生を中心とする安全な登校を目指す集団登下校においても、教師の指導のみを拠り所にするのではなく、子どもたち自身が課題を自分事として捉え、振り返り、具体的

に行動する自治的な力を育てることに力を入れています。この自治的な力は、各学級でも大切にされています。この力を育てるためには、大人が子どもを信じることに加え、子どもの目を物事の結果ではなく、その過程に向けさせることが大切です。子どもが“自ら課題を見つけ自ら解決する営みの中で大きな学びを得られる活動”へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



冬季の体育の服装について

体育は、子どもたちが身体活動を通し、自己や仲間とともに伸び伸びと自己表現する場です。そのために必要なものの一つが服装です。安全かつ機能的であり、衛生的なものとして、体操服着用を原則とした冬季（12月～3月）の服装を、次の3点を基準にご準備ください。①タイツや長袖等のアウターウェアの着用可
②気温に応じた、長袖・長ズボン等の動きやすいオーバーウェア(ジャージ等)着用可 ③制服は不可

なお、華美なものにならないようご配慮とご協力をお願いします。